・今回新たに取り組む事業内容

新たに商品・サービス内容に取り組みます。

	大分類	中分類	小分類	細分類
内容				
コード番号				

※日本標準産業分類ベース

・商品等の新規性要件

今回、新たに提供する商品・サービス内容は、過去に提供した実績はありません。

また、今まで製造等に用いる主要設備は、従来の提供設備を使っておりましたが、これを変更し、新たに新たな用の提供設備を導入します。

本取組における商品・サービス内容は、定量的に性能や効能の違いが異なります。

具体的には、既存製品と比べ商品・サービス内容は、強度・耐久性、軽量、加工性、制御精度、容量等が数字%向上することが見込まれます。その根拠は根拠です。※定量的に性能や効能の比較ができない場合は、その旨の記述に差し替えてください。

※その他、指針を確認していただき、非該当例にあてはまらない事等、追記が必要な場合はお願いいたします。

・市場の新規性要件

新たな商品・サービスと従来の商品・サービスでは、その用途は全く異なり、新たな商品・サービスを提供・販売することによって、従来の商品・サービスの需要が代替され、売上が減少することは見込まれません。その根拠は根拠です。

むしろ、相乗効果の根拠という理由から、相乗効果で従来の製品・サービスの売上増大も期待できます。

※その他、指針を確認していただき、非該当例にあてはまらない事等、追記が必要な場合はお願いいたします。

・売上高 10%要件

本事業計画期間終了時、商品・サービス内容の売上高は売上高円となる予定です。また、既存事業の売上予測が売上高円で推移し、新事業による売上高の数字%を占める事となり、これは要件の 10%以上を満たします。

※ギリギリ達成予定するよりも、数字は高ければ高い方がよいです。もちろん、現実的に達成可能な範囲でお願いします。

・事業再編の内容　※事業再編を行わない場合は削除してください

今回、合併、会社分割、株式交換、株式移転、事業譲渡の中から選んでくださいという会社法上の組織再編行為を行います。具体的には、何という会社、何の事業などを行う事します。

事業再編を行う理由としては事業再編を行う理由です。

二.具体的な取組の内容

サンプル
無断転載を禁じます。